

## 総論

# 現場ならではのキーワードを 頭に入れて、 よいスタートダッシュを!

高度ポリテクセンター 中杉晴久

## モノづくり現場と現場用語

この特集を読んでおられる方の中には、この春にプレス加工関連の企業に就職され、社会人としての第一歩を踏み出された方もいるだろう。社会人として良いスタートを切るためには、職場の先輩方とのコミュニケーションが重要である。同じ職場で仕事をする仲間として、協力し励まし合い、時には指導を仰ぐこともあるだろう。入社もない若手社員が仕事においてコミュニケーションをする上で障害になるものの一つに、現場で飛び交うローカルな「専門用語」がある。仕事では「ほ

\* (なかすぎ はるひさ) : 素材・生産システム係講師  
〒261-0014 千葉市美浜区若葉 3-1-2  
TEL : 043-296-2741 FAX : 043-296-2780



図1 燕三条職人のことば集

う (報告) ・れん (連絡) ・そう (相談)」が重要だと言われているがインターネットが普及していない30年程前に比べ、現在は、情報伝達手段が発達し、当時と比べ、より早く正確に情報を伝えることが可能な時代となっているはずだ。

しかし、手段が変わったとしても伝える情報の本質的な部分は、何も変わっていない。仕事においてコミュニケーションには、現場の専門用語を理解する必要がある。就職するまでに、ものづくりに関する専門技術を学んだ経験のない人は、現場で飛び交う「専門用語」は、知らなくて当たり前である。現代の情報伝達手段を使いこなしている若手社員の方には、まずは「専門用語」の壁を克服し、現場でのコミュニケーションを円滑に行えるようになっていただきたい。

## ものづくり現場はワンダーランド?

新潟県の燕三条市は、地場産業である金属加工が盛んなことで有名だが、その燕三条駅の売店に図1に示すような「燕三条職人のことば集 ことばのじてん」が販売されている。これは、「燕三条ことばのじてん作成委員会」が編集したもので、現在第3版まで出版されている。この「じてん」は、燕三条市内で実施されている体験型観光に参加される方に、現場で飛び交う「ローカルな現場用語」を理解してもらうために出版されたものである。実際にインターネットで燕三条の観光スポットを検索すると、ものづくりの楽しさを知るためのワンダーランドとして、多くのものづくり体

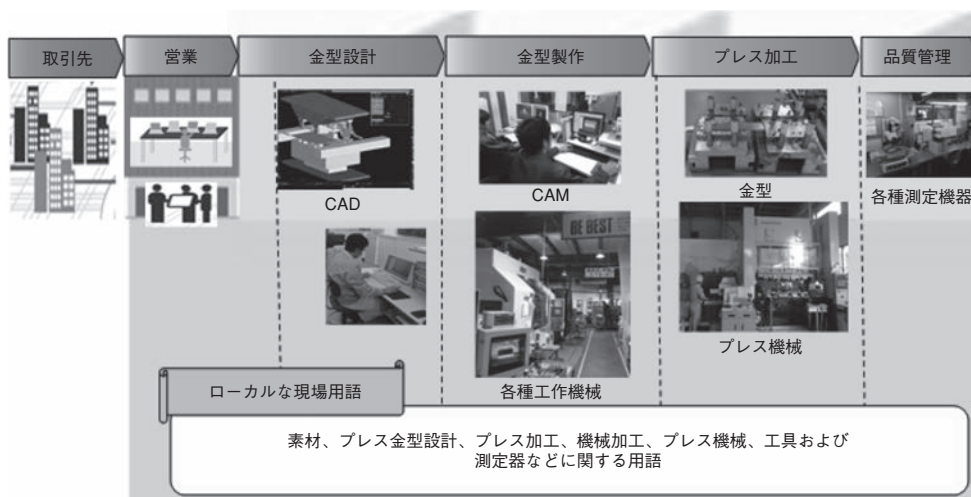


図2 プレス加工メーカーの仕事の流れと現場用語

験スポットが紹介されている。

プレス金型メーカーなどの素形材産業は、日本のものづくりの中心的な位置づけの産業であるのにかかわらず、ほとんど馴染みのない世界となっている。プレス加工メーカーに就職した場合にも、図2に示すように、仕事の流れの中で、素材、金型、プレス加工、機械加工、工具および測定器など、多くの現場で使用される技術用語が使われる。

技術用語の意味がわからなければ、何かトラブルになったとき指示された解決方法の意味がわからず、問題を解決できないことになる。また工作

機械の操作や段取りを行う場合、間違った操作や手順で作業をしてしまったら、損失を招いたり、自分の身に危険が及んだりする。若手社員に現場で用いる技術用語を習得するには、現場に即した基礎的な教育を実施することが必要である。

### 技術用語の壁

人は、成長の過程において、義務教育などを経ているいろいろな言葉を学び、その言葉を使って、コミュニケーションしながら成長してきた(図3)。そして就職する頃には、一般常識なども身に付き、社会で生活するにあたり不自由がないくらいの知

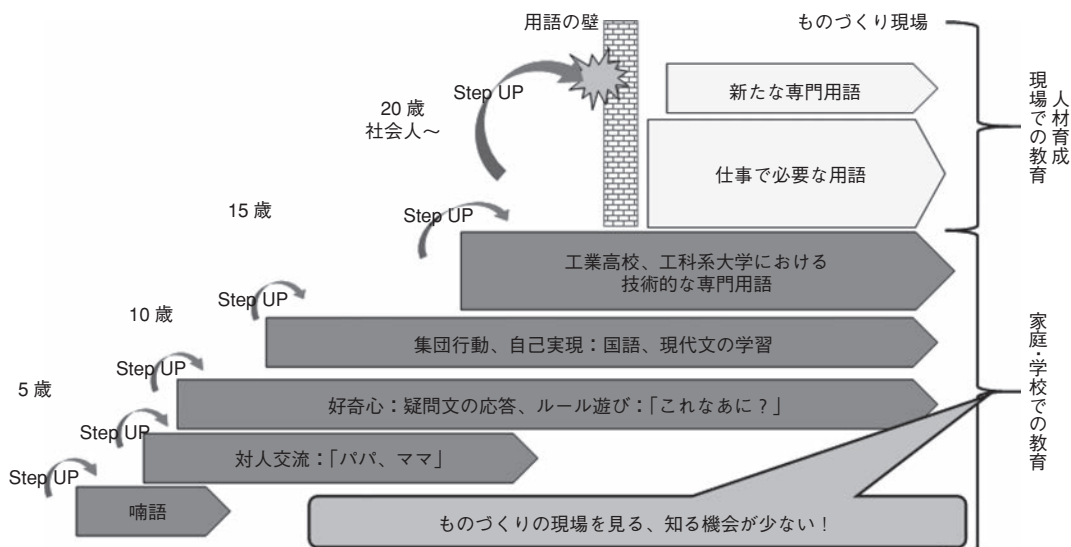


図3 言葉の発達とコミュニケーション